

むかわ町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

むかわ町は、南北に長く鷓川地区と穂別地区の2つの市街地が存在し、さらに小さな集落が郊外に点在する構造となっている。過疎化の進行による人口減は顕著で、また道路網の整備により自動車中心のライフスタイルが定着、バス利用者は減少傾向にあり経営的に厳しい状況が続いている。高齢化の進展に伴い、交通事故未然防止の観点から自動車運転免許証を自主返納する方が増加していることや買い物や通院等での利用、児童生徒の通学利用など交通弱者に配慮した生活交通手段の確保・維持が必要であり、地域間交通ネットワークと接続することによって利便性を向上させバス利用者のニーズに応えることが求められている。

地域公共交通の現況

- JR日高本線（鷓川駅）
- 道南バス(株)（町内1路線、日高沿岸3路線、高速バス1路線、ほか2路線）
- あつまバス(株)（町内1路線）
- 町営バス（町内9路線）

生活交通確保維持改善計画の目標

- 目標
 - 穂別地区デマンドバス年間利用者数(3路線合計) 12,400人
穂別稲里線、穂別富内線、穂別栄線
 - 鷓川地区コミュニティバスの年間利用者数(2路線合計) 4,200人
鷓川川西線、鷓川川東線
 - むかわ町公共交通に係る歳入・歳出比率を2.2%以上とする
 - むかわ町公共交通に係る公的資金投入額を141,762千円以下とする

令和7年度事業概要

- むかわ町デマンドバス運行事業(穂別地区)及びコミュニティバス運行事業(鷓川地区)
- 運行ルート 穂別稲里線・穂別富内線・穂別栄線
鷓川川西線・鷓川川東線
 - 運行本数 平日5系統40便、土・祝祭日5系統30便、
日曜日5系統29便、学校長期休校日2系統6便
 - 運賃 町内200円(高校生以下無料)、障がい者100円、65歳以上100円
1日フリー(障がい者200円、65歳以上200円、その他400円(高校生以下無料))
 - 運行事業者 むかわ町

協議会開催状況

- 令和6年6月27日 第1回協議会を開催
主な協議事項 ・令和6年度計画・予算及び令和7年度地域内
フィーダー計画承認
- 令和6年8月28日 第2回協議会を開催
主な協議事項 ・令和6年度地域内フィーダー計画の変更について
承認
- 令和7年1月15日 第3回協議会を開催
主な協議事項 ・令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に関
する事業評価を実施
- 令和7年3月3日 第4回協議会を開催
主な協議事項 ・令和7年度地域内フィーダー計画の変更について
承認
- 令和7年6月27日 第1回協議会を開催
主な協議事項 ・令和7年度計画・予算及び令和8年度地域内
フィーダー計画承認
- 令和8年1月14日 第2回協議会を開催
主な協議事項 ・令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に関
する事業評価を実施

令和7年度事業の実施状況

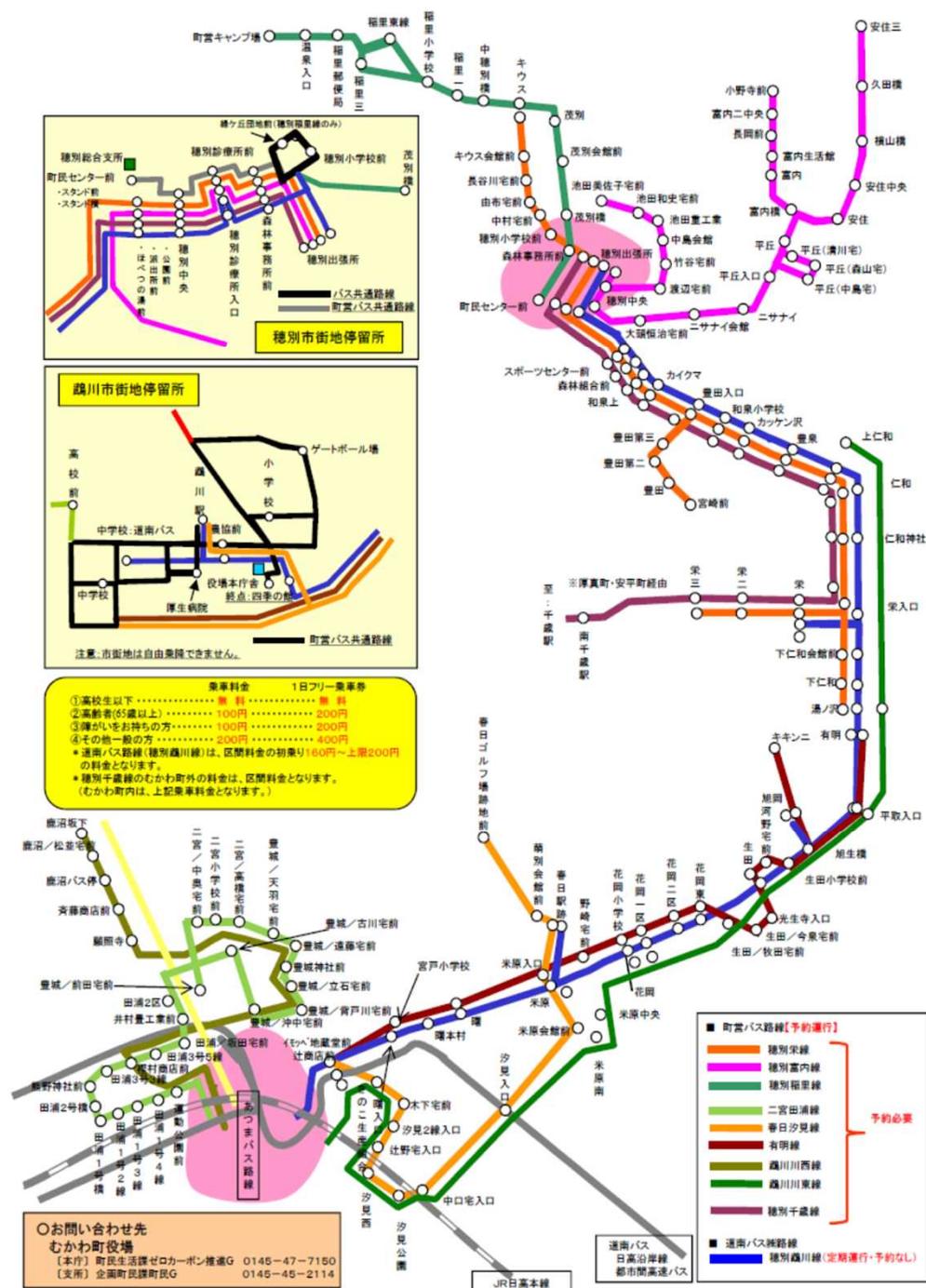
1) プロセス、創意工夫

- むかわ町を訪れる観光客(一般利用者)へ、鶴川市街や穂別市街から郊外へ行くバスダイヤ等のアナウンスを行った。
- 広報誌・情報端末等により、路線・ダイヤの情報から詳細な利用方法の周知を行っている。
- 町主催等の各種イベントや会合等の時間設定をする場合、バスダイヤを意識した設定となるよう協力を得ている。
- バス事業者路線と町営バス路線が、デマンドバス・コミュニティバス運行を効率的に運行できるための路線及びダイヤの一体的な調整を行っている。
- 路線バス(事業者路線・町営バス路線)とスクールバス混乗便の路線・ダイヤを一体的に配置し効率化を図っている。
- 臨時便や増便などにより、予約者のニーズに応える運行を行っている。

* 本町のデマンドバスは、路線とダイヤを定めて予約があった場合に運行している。利用者の庭先までは入っていないことから、通称「予約運行バス」と呼んでいる。

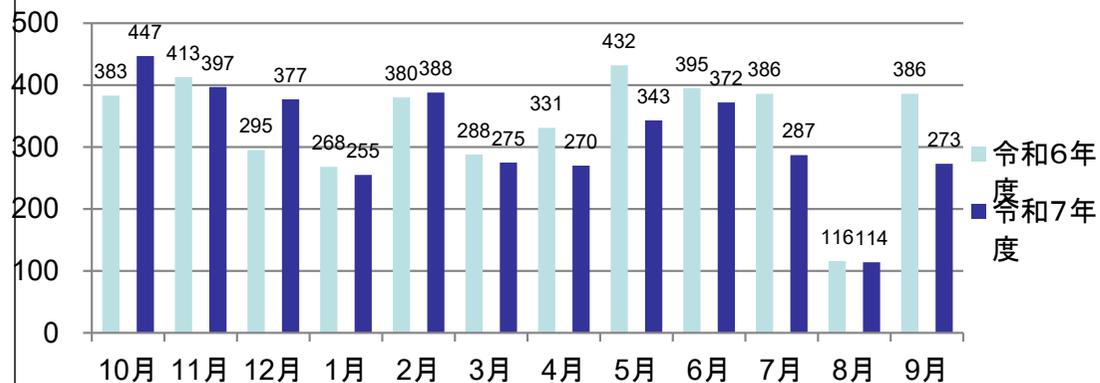
2) 運行系統

むかわ町バス路線図

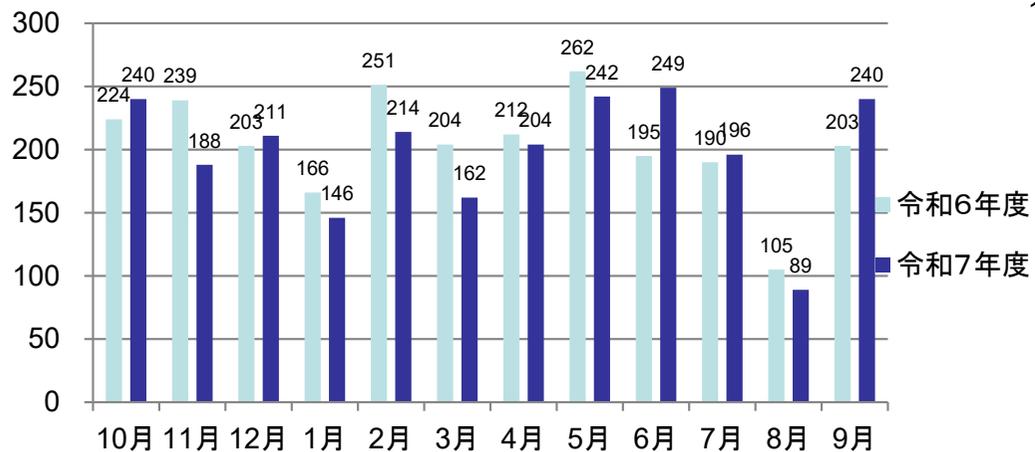


3) 利用実績

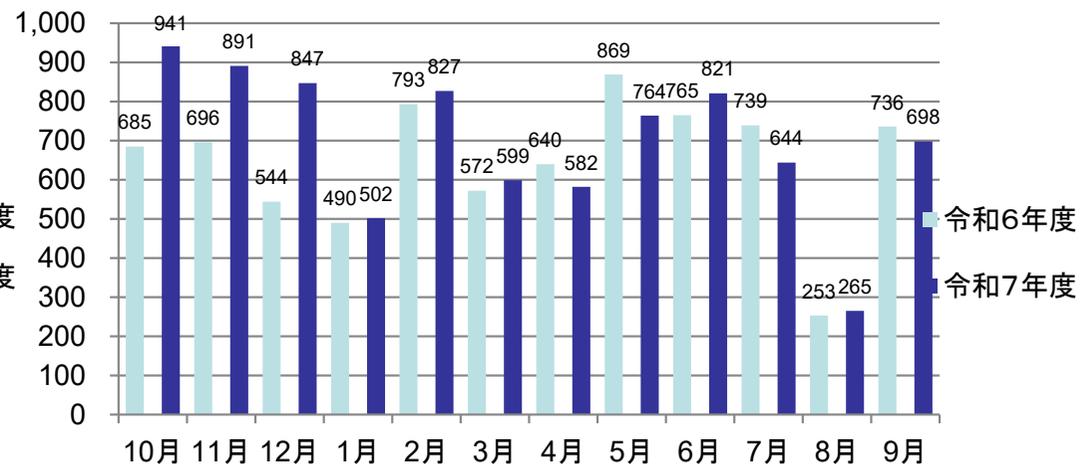
①穂別稲里線(令和7年度3,798人／令和6年度4,073人 対前年 -275人)



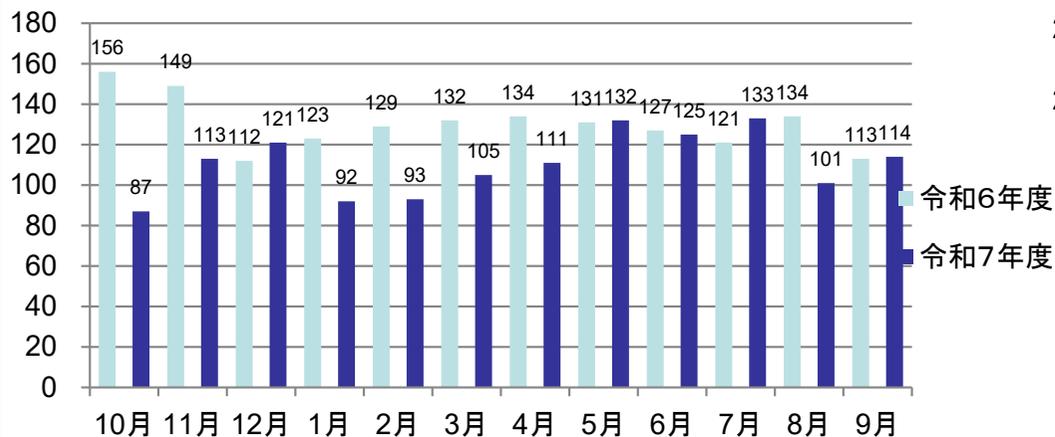
②穂別富内線(令和7年度2,381人／令和6年度2,454人 対前年 -73人)



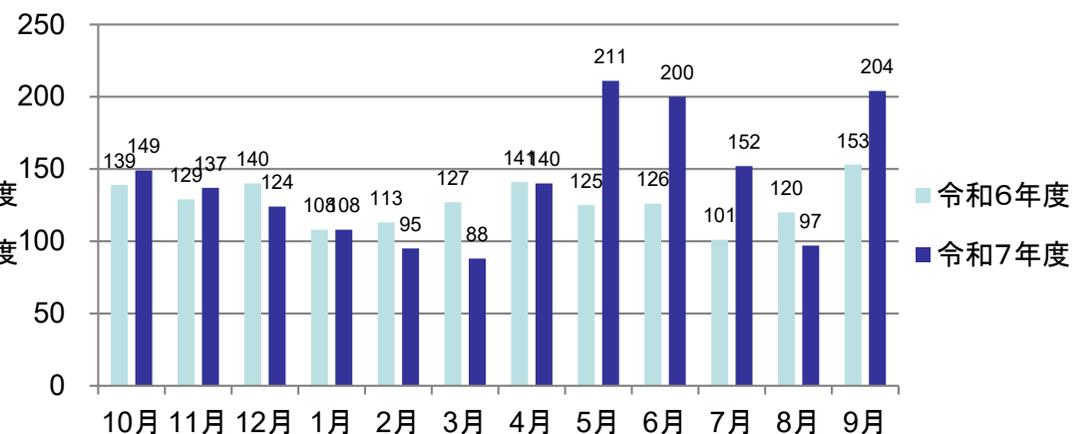
③穂別栄線(令和7年度8,381人／令和6年度7,782人 対前年 +599人)



④ 鶴川川西線 (令和7年度1,327人／令和6年度1,561人 対前年 -234人)

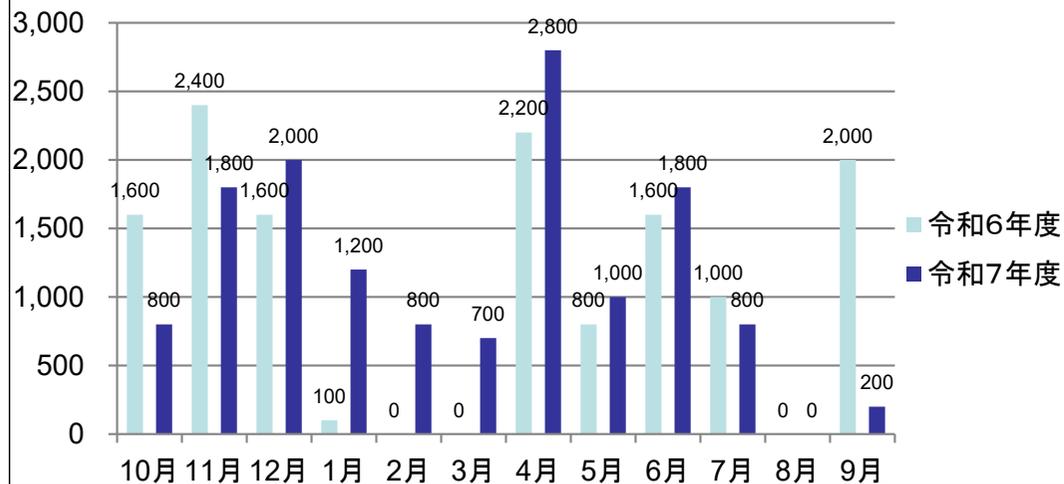


⑤ 鶴川川東線 (令和7年度1,705人／令和6年度1,522人 対前年 +183人)

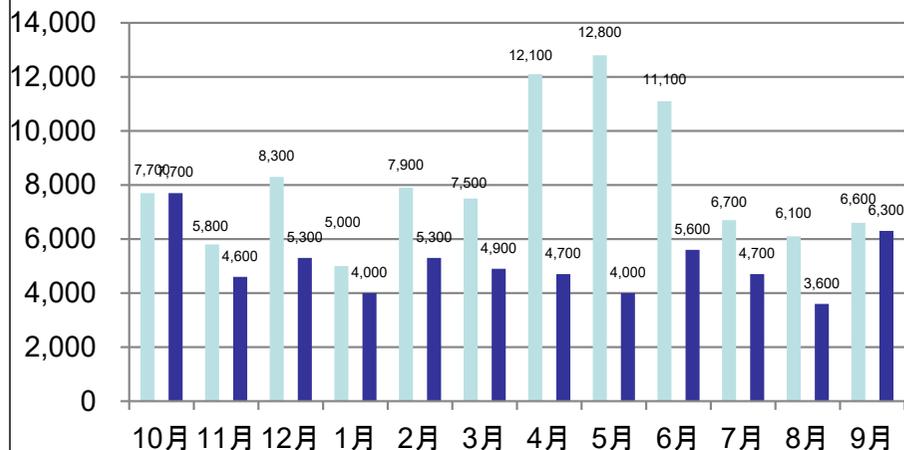


4) 収入実績

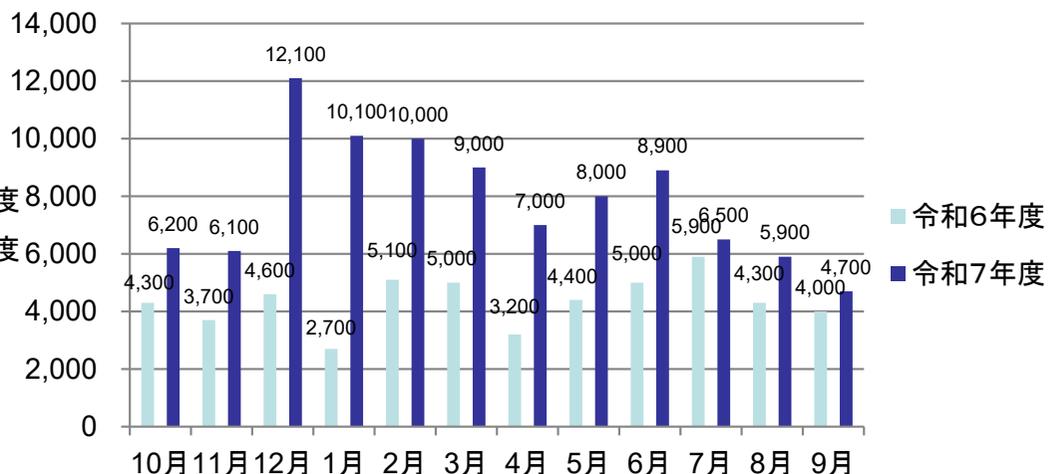
① 穂別稲里線 (令和7年度13,900円／令和6年度13,300円 対前年 +600円)



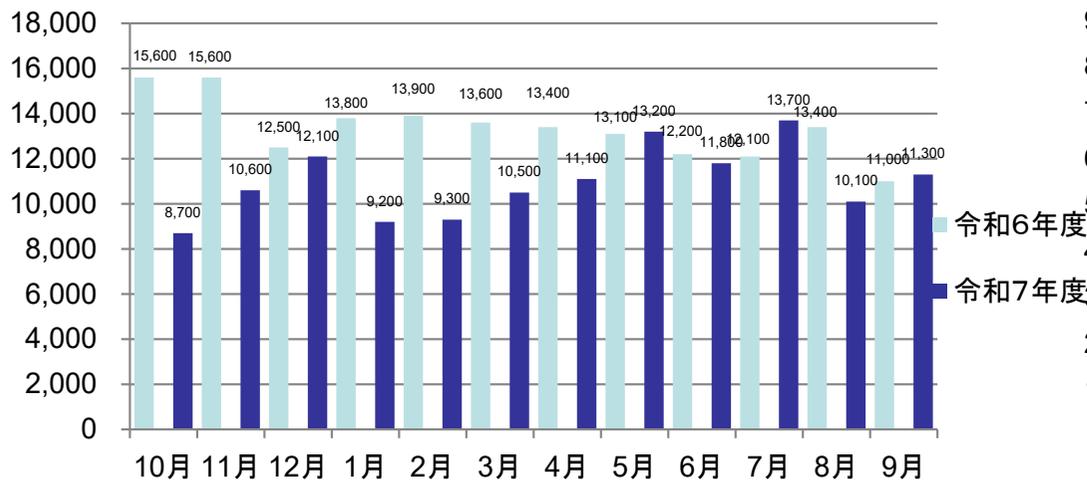
②穂別富内線(令和7年度60,700円／令和6年度97,600円 対前年 -36,900円)



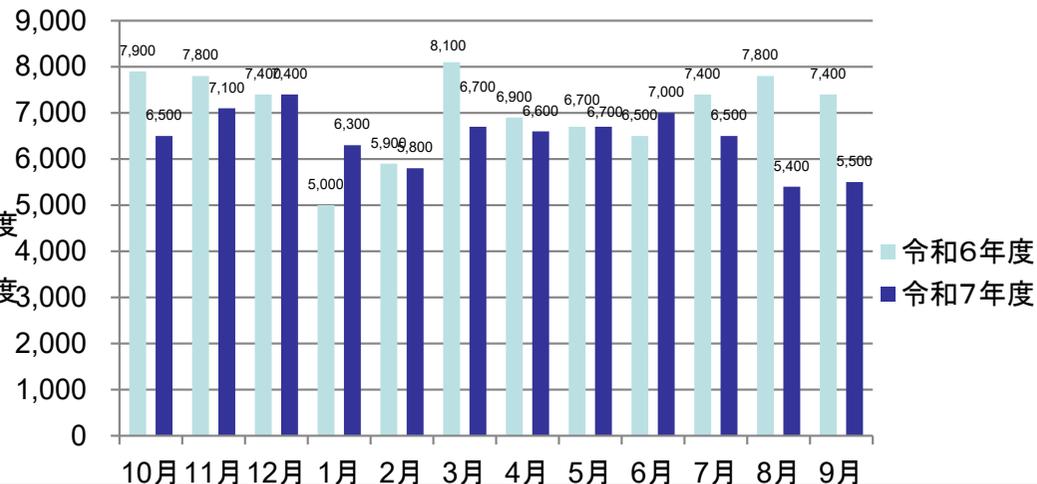
③穂別栄線(令和7年度94,500円／令和6年度52,200円 対前年 +42,300円)



④鷺川川西線(令和7年度131,600円／令和6年度160,200円 対前年 -28,600円)



⑤鷺川川東線(令和7年度77,500円／令和6年度84,800円 対前年 -7,300円)



5) 事業実施の適切性

事業が計画に位置づけされたとおり適切に実施され、穂別地区の利用者数は増加傾向となった一方、鷗川地区の利用者数は減少傾向にて推移した。

6) 目標・効果達成状況

令和7年度の輸送人員は、

- (1) 穂別稲里線 実績3,798人
- (2) 穂別富内線 実績2,381人
- (3) 穂別栄線 実績8,381人
- (4) 鷗川川西線 実績1,327人
- (5) 鷗川川東線 実績1,705人

となっており、穂別地区は年間利用者数(目標)12,400人に対して、実績14,560人で117.42%だった。穂別栄線及び穂別富内線の小学生利用増、高齢者も利用増。鷗川地区は年間利用者数(目標)4,200人に対して実績は3,032人で72.19%の達成率だった。

令和7年度収支率は目標値2.2%以上に対して、2.4%。バス運行経費は141,762千円以下の目標値に対して、128,187千円であった。

7) 事業の今後の改善点

■JR日高本線の一部廃止に伴い、利用者増加と経営状況の改善策を考慮しながら路線の延長や変更、追加を検討していく。

■むかわ町の事業で町外の一般利用者の増加を見込んだ周知方法を検討していく。

■高齢者や児童生徒等の交通弱者に配慮した、町内の交通ネットワークを一体的に編成するための、路線・ダイヤ等の見直しに継続して取り組むことにより、町内外での交流の促進及び利用者の拡大を図る。また、継続的な事業運営を行うため、料金体系の見直し等も検討していく。

■計画的に車両更新をすすめ高齢者等が乗降しやすく環境に配慮した車両導入も検討する。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・鷗川地区における輸送人員の目標は達成することができなかったが、今後も地域公共交通計画に基づき、利用促進策の取組を継続することを期待する。